

リチウムイオン電池におけるBMSの最適設計と利用・応用技術【名古屋開催】

趣旨

イオン導電体とは固体でありながらイオンが伝導する物質の事で、次世代型リチウム二次電池、燃料電池、センサー、表示素子等の電気化学デバイスとして幅広い応用が期待されています。これらの概要についてイオン伝導の基礎を説明するとともに、その薄膜作製法、電気的特性の測定・解析法について説明するとともに、幾つかのイオン導電体の具体例を、リチウムイオン導電体を中心に講演します。

習得できる知識

・バッテリーマネージメントを設計する上で必要となる電池の基礎知識とBMSを設計する際に必要な知識を理解してもらう

日時 2015年4月10日(金) 12:30~16:30

主催 (株)R&D支援センター

会場 ウィンクあいち 11F 1105 愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38

定員: 30名

受講料 49,980円 ※資料付

※満席により次第

(税込)

※案内会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

募集終了させていただきます。

・1名でお申込みの場合1名につき47,250円です。

・2名同時申込で両名とも会員登録をしていただいた場合、計49,980円(2人目無料)です。

※大学生、教員のご参加は、1名につき受講料10,800円です。

(ただし、企業在籍者は除きます。また、2人目無料も適用外です。)

このセミナーの

申込受付は終了しました

プログラム

1. はじめに

1-1. リチウムイオン電池のシステム設計をするために

1-2. 事前を知っておきたい設計のための注意点

(1) 配慮する必要がある内容 (2) 設計上の基本ポイント

2. リチウムイオン電池の特徴

2-1. 電池の基礎

(1) 電池のしくみ (2) 起電力とは

2-2. いろいろなリチウムイオン電池

(1) 正極活物質について (2) 負極活物について

2-3. リチウムイオン電池の代表特性

(1) 充放電特性 (2) サイクル特性 (3) 保存特性 (4) 起電力とは

3. BMS設計の考え方

3-1. 保護回路

(1) 保護回路の必要性について (2) 実際の回路例

3-2. インテリジェント回路

(1) インテリジェント回路の考え方 (2) 残容量の算出方法 (3) 回路例

3-3. バランシング回路

(1) バランシングの必要性 (2) バランシング方法 (3) 回路例

4. 機構設計

4-1. セルの連結路

(1) 連結時の注意点 (2) 実際の連結例

4-2. 外装ケース

(1) ケースの材料の選び方(樹脂/金属) (2) ケース設計上の注意点

4-3. 熱マネージメント

(1) 熱の解析 (2) 熱伝導と放熱(輻射) (3) 類焼対策

5. その他

5-1. キャパシタとの違い

5-2. 電池に関連する法律・規制

『リチウムイオン電池におけるBMSの最適設計と利用・応用技術【名古屋開催】』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	
お名前	所属	E-Mail	
①			
②			

※左記ご記入の上、**FAX 03-3261-0238**までお申込みください。

■お申込み方法

左記必要事項をご記入の上、FAXでお申込みください。お申込み後の連絡、受講証の発送、請求業務などは(株)R&D支援センターが行います。折り返し、R&D支援センターから受講証(当日ご持参下さい)、請求書、会場地図をご本人様宛てにお送り致します。お申込み後、5日以内にお手元に届かない場合は必ずR&D支援センター(TEL:03-3599-5811)へご一報下さい。

■お支払

請求書を発行いたしますので、開催日までに銀行振込をお願いいたします。

■個人情報の取り扱い

ご記入の個人情報は、当社および主催者が、事務連絡、ご案内等に使用いたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

案内会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

・お申込み後の連絡、受講証の発送、請求業務などは(株)R&D支援センターが行います。
・Eメールまたは郵送でセミナー・書籍ののご案内をお送りします。
・ご案内は(株)R&D支援センターおよびS&T出版(株)からお送りします。

Eメール 郵送